

2024年度 社会福祉法人光摂会 事業報告

●法人事業報告について

1、各事業所の実績について

事業所	定員・登録者 数等	年間利用者延べ人数・ 年間在籍者数
摂津交流センターバクの家	35	6,533
ハッピーワールド	18	3,495
バクのパン屋さん	21	4,161
光摂ホーム	12	3,885
はあねす	116	2,067
ケアプランセンターたんぽぽ	なし	2,649
ケアセンターたんぽぽ	なし	1,497
デイサービスたんぽぽ	31	3,379
わかば保育園	60	583

*定員・登録者数等は、2025年3月末時点

*わかば保育園のみ年間在籍者数

2、目標についての振り返り

(1) 理念本の作成を進めます。

・ひこうせん編集委員会が中心となり理念本の作成を行い、8月からは職員への理念本配布を行っている。ただ、法人の理念「私たちは世代や立場をこえ、一人ひとりを大切にし優しさを紡ぐ法人を目指します。」が出来て間もないこともあり、理念本だけでは法人内への浸透は難しい状況がある。今後は、実践を通じて法人理念を法人内で共有していくことが必要だと考えられる。

(2) 複合福祉施設を活用し、部門をこえて地域の諸団体との実践交流を進めます。

・5月から「複合福祉施設懇談会」を開始した。懇談会には、地域の方や大学の先生も参加してくれており、各施設や地域についての情報共有を月1回程度のペースで行っている。11月からは、複合福祉施設地域交流スペースを活用し、毎週木曜日に「宿題カフェ」を開始した。今後は、「宿題カフェ」も含めて地域と繋がる取組を通じて地域のニーズを見つけていく必要があると考えられる。

*宿題カフェ：小学生に無料で宿題を行うスペースを提供する取り組み。宿題が終わった児童には、ジュースを1杯提供もしている。

(3) わたバ建物改修工事により、ハッピーワールド移転、法人内事業の再編を通じて地域との繋がり作りを進めます。

・建物のオーナーさんの協力もあり、改修工事を順調に行うことができ、2月にハッピーワールドが建物1階西側へ、喫茶アウルが建物1階東側に移転することが出来た。また、喫茶アウルの移転に伴い、障害児者とともに地域で生きる会が委託を受け運営している「陽だまり」の展示についても、新しい建物へ移転を行った。喫茶アウルについては、「陽だまり」が実施する映画上映会への場所提供などを実施し、地域との繋がりを継続しながら、本格的な再開に向けて準備を進めている。また、建物2階部分へは、東側の一部に法人本部を移転した。今後は、西側のフリースペースの活用方法を法人内で検討していく必要があると考えられる。

(4) 報酬改定や処遇改善加算を活用し、職員の賃金改善を進めます。

・報酬改定や処遇改善加算を活用し、部門ごとに賃金改善を進めてきた。ただ、福祉職員の給与水準が他産業に比べて低いことや、令和6年10月の最低賃金改定では、50円引き上げが行われており、令和7年度も同水準の引き上げが予想されることなども踏まえると、令和7年度も引き続き更なる賃金改善を実施していく必要があると考えられる。

● 障害等部門について

◎ 摂津交流センターバクの家

1、事業所の目標の振り返り

(1) 地域の方との繋がる機会を増やすため地域のイベントに参加し交流を図る。交流による障害の理解促進に取り組む。

・摂津市民福祉まつりの開催日に開所することでイベントに参加をすることができた。また、練習をしていた「よさこい」で舞台出演もすることができた。一方でガイドヘルパーを利用しての祭への参加をする利用者も多くいたため、他の休日開所と比べても出席者としては少なかった。

・建物を子ども食堂へ転借することで、交流や障害の理解に取り組んだ。当初想定していた交流はできなかった。

(2) 身体を動かす活動（エアロビ、ラジオ体操、よさこいソーラン節）の充実を図る。

・毎日お昼の時間を使い、ラジオ体操やよさこいの練習を行った。
・エアロビについて、コロナの影響で中止をしており昨年度から再開することができていたが、依頼している業者から派遣が難しいと話があり、しばらく保留としていたが終了することとなった。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	42	29	36	55	31	31	
事故	1	0	0	2	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	20	22	17	34	31	28	376
事故	1	0	2	1	1	3	11
苦情	1	0	0	0	0	0	1

2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

・障害特性によるものが多く、自傷・他害、転倒などがみられた。

② 事故について

・他傷、自傷行為が多くみられた。

- ・車内放置、転倒、服薬忘れるがそれぞれ 1 件

③ 苦情について

- ・隣の建物の前で、歌い踊ることに対し業務に影響が出たためやめさせてほしいと話があった。

④ 振り返り

- ・行動障害を持つ利用者の他害行為や無断外出、パニック、こだわりなどの障害特性が要因と考えられるものがヒヤリ・事故の多くを占めている。

3、利用者工賃について

工賃支払総額	1,781,182 円
平均工賃	6,033 円

※工賃支払総額：2024 年度（1 年間）に支払った工賃の総額

※平均工賃：工賃支払い総額 ÷ (開所日 1 日当たりの平均利用者数 (24.6 人) × 12 カ月)

◎ ハッピーワールド

1、事業所の目標の振り返り

- ・活動場所の移転に伴って、利用者と一緒に活動内容の充実を考えていきます。
→2 月 1 日（土）に東正雀 4-22 から庄屋 2-4-28 へ引っ越しを終え、2 月 3 日（月）より利用者さんとともに庄屋 2-4-28 での活動を開始する事ができた。
→学園町で営業していた喫茶アウルについては、1 月末で一時休業しハッピーの引っ越しを終えた 2 月以降に調理器具などの引っ越しを終え 3 月に保健所より飲食店営業の許可が下り新年度に向け準備を行うことができた。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	4	3	6	4	3	1	
事故	7	6	4	1	1	4	
苦情	0	0	0	0	1	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	7	1	3	2	5	2	41
事故	5	1	5	6	2	2	44
苦情	0	0	0	0	0	0	1

2) 内容と振り返りについて

①ヒヤリについて

- ・押す、叩く、蹴るといった他害行為に関する事例が多くみられた

②事故について

- ・お手洗いの際に衣服や便座を汚す事例が多くみられた
- ・薬に関して、薬が床に落ちていたり洗濯乾燥機から見つかったりと薬に関する事例が例年より多くみられた
- ・移動に際の転倒に関する事例も年間数件あった

③苦情について

- ・男女の利用者間に関しての接触事例が 1 件

④まとめ

- ・年間を通じて他害行為やお手洗いに関する事例が多くみられた
- ・服薬している利用者も多く、薬に関しての事例も目立った。
- ・運動機能の低下に伴って転倒する事例もみられた

3、利用者工賃について

工賃支払総額	1,966,119 円
平均工賃	12,412 円

*工賃支払総額：2024 年度（1 年間）に支払った工賃の総額

*平均工賃：工賃支払い総額 ÷ (開所日 1 日当たりの平均利用者数 (13.2 人) × 12 カ月)

4、その他

- ・年度内で常勤職員 2 名が退職した為、残りの職員とともに他事業所から職員の応援も募り支援を継続する事が出来た。（補充職員については年度後半で 2 名が入職）
- ・利用者についても年度内で 5 名の退所者がおり、法人内の他事業所から移籍してきた利用者もおり利用者に関しても大きな動きのある 1 年であった。

◎ バクのパン屋さん

1、事業所の目標の振り返り

- (1) パン製造販売やカフェの仕事を通じて、利用者より多くの人と「ワクワク」を共有できる機会を創出する。
- ・新店舗に移転し、5 月 14 日（火）からパン店舗がオープンした。以前の店舗とは違い、パン販売スペースと喫茶スペースを併設していることで、パンを購入したお客様が喫茶スペースを利用することや、喫茶スペースを利用したお客様が帰りにパンを購入することが可能なため、利用者とお客様が接する機会が増えている。また、

併設しているデイサービスたんぽぽの協力により、8月からは月1回のペースでデイサービスの利用者が喫茶スペースでのお茶会を開催している。当初は製造の仕事だけを希望していた利用者が、店舗での販売を希望し製造の仕事だけでなく、店舗での販売の仕事に取り組んでいる状況もある。また、7月から月1回のペースで利用者会議を開催しており、会議中で、1ヶ月の売上を利用者と共有する取り組みも行っている。また、利用者からは「新しいパンを作りたい」などの積極的な意見もある。今後は、利用者の意見も取り入れながら、利用者がより充実して働く環境を整える必要がある。

（2）2028年度に月額平均工賃2万円を目指して、今年度は時給140円を実現する。

・今年度は、パンの価格変更、新商品の開発や既存商品の改良、飲み物の価格改定などを実施したが、お客様が減ることはなく売上も昨年度に比べると増えている。また、5月からは、併設しているわかば保育園の協力により、保護者や園児、職員向けに営業時間終了後にパン無人販売を開始した。なお、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を本格的に導入し、製造販売の環境改善も実施した。目標としていた時給140円には至らなかったが、年2回（12月・3月）の一時金を支払うことが出来た。今後は、商品開発等により、更に売上を伸ばしていく必要がある。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	7	9	8	8	10	11	
事故	0	1	3	1	3	2	
苦情	0	0	2	1	0	1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	10	3	4	5	8	0	83
事故	0	2	3	1	0	1	17
苦情	3	3	2	0	0	0	12

2) 内容と振り返りについて

①ヒヤリについて

・今年度は、活動場所を移転したことでの慣れない環境によるヒヤリハットが多くあり、その都度、環境整備を中心として対応進めてきた。

②事故について

・事故の内、他害行為による事故については、当該利用者の障害特性や他の利用者との関係性を考慮しながら、環境の整備を行うことで対応を進めてきた。

③苦情について

- ・昨年度に引き続き、利用者から他の利用者の言動等にたいする内容もあるが、お客さんからのパン注文販売に関する意見もあった。

④まとめ

- ・職員会議の中で、ヒヤリ・事故・苦情については共有し、必要な改善策等の確認も実施している。4月から活動場所が一つになり、活動スペースが広くなった。以前の活動場所で頻繁に起こっていた工房内での接触に関するヒヤリハットや事故は解消されている。ただ、活動場所が変化したことでの新たなヒヤリハットが発生しており、その都度、環境に働きかけることを軸として対応策を職員で協議しながら進めている。

3、工賃について

工賃支払総額	2,679,994 円
平均工賃	13,534 円

※工賃支払総額：2024 年度（1 年間）に支払った工賃の総額

※平均工賃：工賃支払い総額 ÷（開所日 1 日当たりの平均利用者数（16.5 人）× 12 カ月）

◎ 光摂ホーム

1 事業の目標の振り返り

（1）災害発生時の職員確保等の仕組みづくりを進めます。

利用者の住まいであるグループホームでは、自然災害が発生した際の職員確保が大きな課題となる。そのため、職員が勤務できない場合の応援体制として、日中事業所の職員にホーム災害模擬訓練の実施をおこなった。グループホームの場所を知つてもらうことはもちろん、利用者の様子や世話人の職務等を一日体験してもらった。体験後の振り返りをする中で、世話人業務について、抵抗感が少しは薄らいだのではないかと感じている。一回のみの模擬訓練となつたが、今後もグループホームの業務等を知つてもらい、法人内の職員間において災害時等を問わずしても協力が行えるようしていきたいと考えている。

（2）地域との連携を深めるために、具体的な仕組みづくりを進めます。

グループホームでは、利用者がその人らしく安心して暮らすことができるよう、利用者と地域との関係づくりやサービスの透明性や質の確保等が求められている。そのため、地域との連携を深めるための仕組み作りを進めていたが、2024 年度内に具体的な仕組みづくりを確立することはできなかつた。国から具体案等が提示されているた

め、具体案に対応しながら、仕組みを確立していく予定である。

2 ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	7	11	8	7	4	4	
事故	2	4	3	5	1	2	
苦情	0	0	0	1	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	2	3	2	3	6	1	
事故	3	0	2	1	0	2	
苦情	1	0	0	0	1	0	

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリハットについて

- ・利用者さんの気持ちの変化に伴う暴言や行動等のケースが大半であった。他の利用者に対しての暴言や物にあたる行動があった際は、他の利用者に自室等へ移動してもらう等の対応をおこない利用者の見守りをおこなった。
- また、利用者の居室に、飲みかけの飲み物や賞味期限切れの食材が残っていたケースも数件あった。職員間で共有しながら対応等をおこなった。

② 事故について

- ・利用者さんの気持ちの変化に伴う暴言が治まらず、物を投げたり、他の利用者や職員を叩いたりするケースがあった。利用者の主治医へ報告相談をおこない、利用者が安定して生活できるように努めた。また、薬の飲み忘れなどの薬に関する事象も挙がっている。服薬漏れについては、その都度事案を検証し、改善策等を模索し、職員会議で確認等をおこなった。

③ 苦情について

- ・ご家族より、現場での職員の対応等について問い合わせがあった。ご不快な思いをさせてしまったことへ陳謝をおこない、職員間で事象を検証し、改善に向け共有等をおこなった。

④ 振り返りについて

- ・日々の支援報告の中で、「ヒヤリ・事故・苦情」の内容を拾い上げている。利用者

の様子等の確認も行いながら事象の検討をおこなった。さらに、月に一度の職員会議においても内容の確認や共有をおこなった。

事故報告の中で、服薬漏れの事案については、重要事項だと考えている。定期通院については、職員会議にて利用者ごとの服薬内容の確認や「薬の取扱い」の確認をおこなっている。だが、今年度は緊急時の通院にて処方された薬の服薬漏れがあった。定期通院以外の薬の共有方法等について、考えていかなければならぬと感じている。

3 通院介助の状況について(光摂ホームのみ)

通院先	30 代	40 代	50 代	60 代	80 代	小計
精神・神経科	0	10	17	7	0	34
内科	0	1	36	13	12	62
外科	0	0	1	0	3	4
整形外科	0	0	0	11	1	12
皮膚科	0	7	1	1	0	9
婦人科	0	0	0	0	0	0
眼科	0	2	1	0	0	3
泌尿器科	0	0	0	0	0	0
歯科	4	0	31	18	0	53
合計	4 (4.0)	20 (10.0)	87 (12.4)	50 (25.0)	16 (16.0)	177 (13.6)

* 30代：女性1名 40代：男性2名 50代：女性6名 男性1名

60代：女性2名 80代：女性1名

* () 内は各年代での平均通院件数

◎はあねす

1、事業の目標の振り返り

(1) 職員増員後も円滑な情報共有を図る。

⇒ 週1回のミーティング、相談支援システム内の記録、携帯電話のカレンダーアプリ等を活用し情報の共有ができた。

(2) 初任相談支援専門員の育成に努める。

⇒ 訪問や面談への同行やサービス等利用計画案作成への助言等を行い新人の相談支援専門員への育成を行った。また外部機関にスーパービジョンを依頼した。しかし、

事業所内で相談支援に関するマニュアル等を用いた丁寧な指導はできなかった。初任相談支援専門員が年度内に退職し募集中であることから、相談支援専門員の事業所内での育成は継続の課題となっている。

(3) 計画相談支援の新規受け入れを再開する。

⇒ 支援学校高等部卒業生を含む 20 名の新規受け入れを行うことができた。

(4) 当事者活動の充実に向けて、あつまってみよう会で他市の当事者活動の見学等を積極的に行う。

⇒ 今年度からあつまってみよう会の平日開催を行った。代表を決めて事務局機能を持たせ、当事者が主体的に活動内容を決める形ができつつある。他市の当事者活動の見学は行っていないものの、参加者が興味のあることについて意見を出し合い、補装具や車椅子を取り扱っている企業の見学を行った。また見学時の様子をまとめた機関紙も作成できた。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

- ①ヒヤリハット：2 件
- ②事故：2 件
- ③苦情：1 件

(2) 内容と振り返りについて

①ヒヤリハットについて

- ・訪問予定の失念、書類提出の遅れ等があった。改善策として、週 1 回のミーティングで市役所への書類提出日を確認するようにした。

②事故について

- ・車両事故（車高制限のある高架下を通過しようとして車両が接触）と計画（受給者証）更新の漏れがあった。改善策として毎月各相談支援専門員のモニタリング及び計画更新等の一覧表を貼り出し、複数名でチェックしている。

③苦情について

- ・相談支援専門員の変更希望があった。対応等の具体的な問題点は見当たらず、相性的なものと捉えている。相談支援専門員を変更して対応している。

3、事業実績報告

① 障害者相談支援事業（摂津市委託事業）

相談者数と障害種別

	実人員	身体障害	重症心身	知的	精神	発達障害	高次脳	その他
計	116	85	0	38	9	0	3	9

（実人員<障害種別合計数）

支援内容（支援方法）

訪問	来所	同行	電話	メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
114	35	71	541	38	6	1163	99	2067

↓

介護給付費関係	訓練等給付費関係	地域生活支援事業	医療機関	行政機関	権利擁護
288	253	34	176	183	46
24.8%	21.8%	2.9%	15.1%	15.7%	4.0%
高齢介護関係	教育・保育関係	就労関係	相談支援	その他	
112	12	12	4	43	
9.6%	1.0%	1.0%	0.3%	3.7%	

支援内容（相談内容）

福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
566	11	590	177	5	108
家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他
152	153	57	48	87	113
				計	2067

② 指定特定相談支援（計画相談支援（摂津市指定）

計画相談対象者：122名

③ 一般相談支援（地域相談支援（大阪府指定））

サービス提供の実績なし

2024年度 地域交流室活動報告

- ・複合福祉施設を地域の諸団体に活用してもらう方法を模索する。
→諸団体に活用してもらうまでには至っていない。

活動日	活動内容
4月3日（水）	陽だまり部会
10日（水）	福祉まつり事務局会議
11日（木）	緑化推進連絡会
16日（火）	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
17日（水）	摂津市民福祉まつり実行委員会
19日（金）	日中プログラム開発プロジェクト
23日（火）	福祉就職フェア
25日（木）	こどもフェスティバル会議
27日（土）	一中校区子ども食堂
5月13日（月）	福祉就職フェア会議
	福祉まつり事務局会議
14日（火）	摂津市人権協会総会
	障害児者とともに地域で生きる会役員会
15日（水）	鶴野子ども食堂 サードプレイス
16日（木）	陽だまり上映会
19日（日）	みしまつり
20日（月）	わたば懇談会
	居住支援協議会総会
22日（水）	陽だまり部会
	摂津市民福祉まつり実行委員会
24日（金）	居住支援法人研修（大東市）
6月2日（日）	摂津市民福祉まつり
7日（金）	障害児者とともに地域で生きる会総会
13日（木）	こどもフェスティバル打合せ
17日（月）	わたば懇談会
	たそがれコンサート打合せ
18日（火）	陽だまり部会
19日（水）	鶴野子ども食堂 サードプレイス
7月6日（土）	福祉就職フェア
9日（火）	三島まちかど広場手入れ

	摂津市人権協会
10日（水）	摂津市民福祉まつり実行委員会
11日（木）	障害児者とともに地域で生きる会役員会
13日（土）	ハッピー食堂あいのわ対応
17日（水）	ひこうせん編集会議
	鶴野子ども食堂 サードプレイス
19日（金）	日中プログラム開発プロジェクト
20日（土）	ハッピー食堂あいのわ対応
21日（日）	鮎つかみ・飯ごうすいさん
24日（水）	陽だまり部会
26日（金）	C S W意見交換会
27日（土）	ハッピー食堂あいのわ対応
	一中校区子ども食堂
29日（月）	わたバ懇談会
8月7日（水）	居住支援法人打合せ
17日（土）	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
21日（水）	鶴野子ども食堂 サードプレイス
24日（土）	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
	一中校区子ども食堂
9月3日（火）	障害児者とともに地域で生きる会役員会
4日（水）	社会貢献事業面談
5日（木）	緑化推進連絡会
7日（土）	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
11日（水）	鶴野子ども食堂 サードプレイスとの打ち合わせ
18日（水）	鶴野子ども食堂 サードプレイス
21日（土）	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
26日（木）	障害児者とともに地域で生きる会役員会
28日（土）	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
	一中校区子ども食堂
10月5日（土）	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
16日（水）	陽だまり部会
19日（土）	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
	一中校区子ども食堂
22日（火）	障害児者とともに地域で生きる会役員会
23日（水）	居住支援打合せ

26日 (土)	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
30日 (水)	複合福祉施設懇談会
11月1日 (金)	日中プログラム開発プロジェクト
13日 (水)	陽だまり部会
15日 (金)	居住支援法人勉強会
16日 (土)	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
20日 (火)	障害児者とともに地域で生きる会役員会
23日 (土)	1中校区子ども食堂
27日 (水)	複合福祉施設会議
12月5日 (木)	こどもフェスティバル打ち合わせ
7日 (土)	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
8日 (日)	障害者週間啓発事業
21日 (土)	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
1月17日 (金)	日中プログラム開発プロジェクト
18日 (土)	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
21日 (火)	障害児者とともに地域で生きる会役員会
29日 (水)	複合福祉施設会議
2月8日 (土)	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
22日 (土)	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
	1中校区子ども食堂
3月1日 (土)	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
9日 (日)	味舌のらくいち
17日 (月)	社会貢献事業連絡会
22日 (土)	ハッピー食堂あいのわ摂津対応
	1中校区子ども食堂
29日 (土)	ハッピー食堂あいのわ摂津対応

喫茶アウル年間営業日等について

4月	3・4・10・11・17・18・24	小計 7日
5月	1・8・9・15・22・23・29・30	小計 8日
6月	5・6・12・13・19・20・26・27	小計 8日
7月	10・17・18	小計 3日
8月	6・20・27	小計 3日
9月	3・10・17・24	小計 4日
10月	1・8・5・22・29	小計 5日
11月	5・12・19・26	小計 4日

12月	3・10・17・24	小計4日
1月	14・21・28	小計3日
2月	移転準備の為休業	
3月	移転準備の為休業	
	総計	49日

● 居住支援法人について

1 事業の目標の振り返り

(1) 地域の人と繋がりを深めるために、法人内の他事業所と連携しながらアウトリーチの方法を探していく。

・法人内の事業所との連携は少なかったが、他の機関との連携は昨年度より多くなっている。昨年度 6 名だった相談者が、今年度は 18 名となった。相談者が増えた中で、新たな関係機関とも繋がることができ、相談者のニーズに沿ったお家探しがよりスムーズに行えるようになった。また、昨年度から手探りで行っていた支援も相談者が増えることで標準化できる部分も見えてきている。今後については、支援の標準化を行うことや、今後も相談者が増えていくことを考えて人材をどのように確保していくかを考えて行く必要がある。

● 高齢等部門について

◎ ケアプランセンターたんぽぽ

1、事業所の目標の振り返り

- ・全体的には、事業目標に添った支援は実施できているが、ケアマネージャー交代の苦情があり、利用者及び家族の意向が十分に組取ることができなかつたと思われる。
- ・職員の個々の能力を生かせることはできていた。職員同士も相談がし易い環境であった。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	0	0	1	0	0	0	
事故	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	0	0	0	0	0	0	1
事故	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	1	0	1	0	2

2) 内容と振り返りについて

- ・相談を受けた時に、答えを言うのではなく各ケアマネージャー交代が自分自身の考えを聞き、自分で考えて行けるようにする。
- ・各ケアマネージャーが、どのようにモニタリング、アセスメント等を行っている研修を行う。

3、その他

- ・加算要件である項目実施、BCP ハラスメント 虐待防止研修の実施
- ・常勤 1名、非常勤 1名 退職に伴い、要介護ケースを引き継ぐために、要支援で委託をされていたケースを地域包括支援センターに戻した。

◎ ケアセンターたんぽぽ

1、事業所の目標の振り返り

- ・法人・訪問介護の理念を周知し、利用者に寄り添った介護を行うようする
ヘルパー会議での周知をしたが、まだ浸透していないと感じる。毎年、理念の周知を行い、職員が理念に沿った行動ができるようにしていく。
- ・法令を遵守する体制を整え、丁寧な研修を行う
研修の前に準備をしっかりと行い、より実践的な研修ができた。
- ・職員の処遇改善に取り組む
登録ヘルパーへの移動費の支払い開始、常勤職員の基本給の賃上げを行った。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ヒヤリ	1	0	0	2	0	0	
事故	1	0	1	0	0	2	
苦情	0	1	0	1	0	1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリ	0	1	1	1	0	1	7
事故	0	0	0	0	2	0	6
苦情	0	0	0	2	2	1	8

2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

- ・訪問忘れ1件、連絡ミス3件、紛失しけけ1件、対応ミス2件。

② 事故について

市販薬の購入1件、物品の破損1件、服薬忘れ2件、指示のない薬の提供1件、施錠ミス1件。

③ 苦情について

- ・思い込みによる盗難について2件、ヘルパーとの相性について1件、支援内容について1件、ヘルパーの支援ミスについて1件、買い物について1件、服薬ミスについて1件、食事介助について1件、お金のチャージについて1件。

④ まとめ

- ・軽微なミスについては、個別や会議で改善や指導をしている。
- ・ヘルパーのスキルに合わせて、苦手な支援を避け、得意な支援に入れるように調整した。人材が不足する中で、なるべく仕事を減らさないように、その人に合っている仕事に交代するようにした。

3、その他

- ① ICT 補助金を申請し、受理された。令和 7 年 3 月からマニュアルなどを作成し、令和 7 年度から、記録簿を電子化し、仕事の効率化を図る。
- ② 人材確保補助金を申請した。事務所内での 5S（整理整頓）を実施し、仕事の効率化を促進して働きやすくする。
- ③ BCP・ハラスメント・虐待等の研修を実施した。

④ 令和 7 年 3 月末現在

(利用者数)

利用者延べ人数 : 1497 名

(職員数)

常勤職員 : 管理者兼サービス提供責任者 1 名、

サービス提供責任者 3 名、

事務 1 名

非常勤職員 : ヘルパー 20 名

◎ デイサービスたんぽぽ

1、事業所の目標振り返り

- (1) 利用者満足度の向上に取り組み利用者の目的に合うサービスが提供できるよう職員同士の話し合いを積極的に行う。
 - ・ミーティング時、利用者のケアについて困っていることをなど話、共有しました。
 - ・利用者全員ができなかった。
- (2) ボランティアや地域住民の受け入れ数の向上、デイサービスのみの活動だけではなく交流を積極的に行う。
 - ・ボランティア・ほほえみの会・腹話術・合唱団・歌謡ショーエンターテイメント一定着して来て頂いています。利用者も歌ったり踊ったりと楽しんでいます。
 - ・地域住民との受け入れは、運営推進会議を通じて自治会長にデイサービスの活動内容をお知らせました。月に 1 回ですがバクかふえの利用や季節の散歩を行いました。
- (3) 職員の質の向上のための研修の充実化、外部研修に参加する職員も意識向上と知識の

幅を持たせる。

- ・月1回、内部研修を行いました。（認知症ケア上級・感染症・倫理法令遵守・虐待ハラスメント・入浴ケアの基本・リスクマネジメント・BCPとは・送迎中に災害に会ったら・災害時のトイレ事情・口腔ケアの基本、外部研修に行った職員が講師を行っています。終了後、研修報告書を提出して確認しました。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 1年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	3	3	1	1	3	3	
事故	1	0	0	1	1	1	
苦情	0	0	0	0	0	0	
	10時	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	2	8	3	2	8	3	40
事故	0	0	1	0	0	1	6
苦情	0	0	0	0	0	0	0

3、苦情はありませんでした。

● 保育部門

◎ わかば保育園

1、事業所の目標の振り返り

移転し定員 60 名となる。しかし、初年度であり 4, 5 歳児の数は少なく入園児の数は 50 名程度で推移している。また、0 歳児も 4 月 1 名でスタートし、7 月ごろから徐々に増え定員の 6 名になるまで半年がかかりました。定員が 30 名から 60 名になることで、保育単価は随分下がり厳しい運営状況となることが予想されましたが、人勧が上がり最終的には赤字決算とはなりませんでした。

定員がいっぱいになることはありませんでしたが、入園児の数が増えまた施設環境が変わり進級児へ混乱のないよう丁寧に保育することを心掛けてきました。年度初めは職員が環境に慣れず、バタバタしていましたが、一年をやりきることで、それぞれの発達に沿つて丁寧に保育が出来た。

施設が広くなることで、職員間に距離が出来た。職員間のコミュニケーションの取りづらい状況があった。目標に掲げた非常勤職員会議を開くことが出来なかった。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	1	3	2	3	3	3	
事故	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	2	1	1	0	1	2	
事故	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	

2) 振り返りについて

毎月保育会議の中でヒヤリ報告を共有する。保育会議に出席しない非常勤職員にも会議報告をする中で共有し話し合ったことも伝える。些細な事でも大きな事故に繋がることを確認しヒヤリ報告を促す。

3、その他（各事業ごとに報告が必要な内容）

年間園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	1	1	1	2	4	5
1歳児	8	8	8	8	8	8
2歳児	9	9	9	9	9	9
3歳児	14	15	15	15	15	15
4歳児	9	9	8	9	9	10
5歳児	5	5	4	3	3	3
	46	47	45	46	48	50

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	5	6	6	6	6	6
1歳児	8	8	8	8	8	8
2歳児	9	9	9	9	9	9
3歳児	15	15	15	15	15	15
4歳児	10	10	10	10	10	10
5歳児	3	3	2	2	2	2
	50	51	50	50	50	50